

世代別・職業別タウンミーティング（要約）

テーマ：商店街振興と中心市街地の活性化

平成28年8月2日（火曜日）

【市長】 皆さんこんにちは。今日は皆様方何かとお忙しい方ばかりでございますが、このように平日の日中にお集まりいただきまして、まことにありがとうございます。今日は大街道商店街の皆様方、ロープウェー街商店街の皆様方とのタウンミーティングということで、楽しみにしていました。タウンミーティングがどういうものか、ご存知の方もいらっしゃるかと思いますが、私が市長に就任させていただいたのが平成22年の11月末で、タウンミーティングを開催すると当初から公約に掲げておりました。松山市は、旧松山市と旧中島町と旧北条市を合わせて41地区に分かれます。皆様方が市役所に来られるのを待っているのを果たしていいのか。私たちから各41地区に出向いて行って、声を聞かせていただきましょうということで、タウンミーティングを開催することにいたしました。市長の任期は1期4年の48カ月ですので、41地区を1カ月に1回のペースで回っていこうと思っていましたが、おかげさまで好評になり、41地区のすべてを2年ちょっとの期間で回ることができました。このタウンミーティングの特徴は、できるだけ現場でお答えできることは現場でお答えをして帰るということです。やりっぱなし、聞きっぱなしにすると楽ですけども、そんなことはいたしません。この場で皆さんに質問とか出していただいて、できる限り答えて帰りますけれども、例えば国と関係をする案件、県と関係をする案件、財政的な問題があるものは、いいかげんな答えをして帰るわけにはいきませんからいったん持ち帰らせていただいて、1カ月を目途に必ず皆様方に返事をお返しする、やりっぱなしにしない、聞きっぱなしにしないタウンミーティングを重ねてまいりました。じゃあ1期4年の中で2巡りしましょうということで、1期目の4年で各地区を2巡りさせていただきました。おかげさまで2期目に入らせていただいて、地区別のタウンミーティングはこれからも重ねていきますけれども、新たに世代別のタウンミーティングとして、例えば子育てをされている方々に集まっていたのタウンミーティングとか、もう少ししてやりますけれどもシルバー世代のおじいちゃんおばあちゃん方に集まっていたのタウンミーティングもやる予定です。また、こういう世代別のタウンミーティングに加えまして、職業別のタウンミーティングとして農業関係の方々に集まっていたり、先日は銀天街・まつちか・市駅前の方々とさせていただきましたが、商店街の方々とタウンミーティングを重ねていまして、

世代別のタウンミーティングと職業別のタウンミーティングを新たに加えてやっているところです。今回は大街道やロープウェー商店街の皆様方とのタウンミーティングということで、皆様と率直な意見交換ができればと思っています。行政がすべきこと、また地域の皆さんでできることもあると思います。また、地域の皆さんと我々が協働してやることもあろうかと思っていますので、今日はいいい意見交換ができればと思っています。どうぞよろしくをお願いします。

【司会】 それではテーマについて市長からご説明いたします。

【市長】 今日のテーマですが、「商店街振興と中心市街地の活性化」になります。先日、皆様方とお会いさせていただいて嬉しかったのが、ロープウェー街のリニューアル、そしてアエル松山がオープンをいたしました。アエル松山がオープンしたのに期を同じくして大街道商店街の皆様方にご協力いただき、柱一本南に下がっていただいて、大街道商店街の入り口をリニューアルしてくださいました。そして、石畳、照明柱、シンボルツリー、俳句の短冊の縦横サイズのベンチは松山市で整備させていただきました。あの前の道は国道11号ですから、ロープウェー街さんと大街道商店街さんが一体的にということでカラー舗装もしてくださいました。国、市、そして大街道商店街さん、そしてアエル松山さん、森ビルさんが一体になった整備により都市景観大賞をいただきましたので、この懇親会をさせていただきましたが、本当にいい事業ができたなと思っています。今年の1月、新年最初の仕事ですが、コミュニティセンターで、松山市の年賀交歓会が行われているんです。大体千人の松山市民の方々が来てくださいます。ここで「中心市街地活性化2050ビジョン」、2050年に松山の中心市街地がこうなっていたらいいなという私の思いを述べさせていただきました。1月に新年最初の仕事で言わせていただきましたが、これに私の中心市街地の思いが凝縮されていますので、タウンミーティングに入る前に、これを皆さんに見ていただければと思います。

V T R 鑑賞

【市長】 ということで、新年の最初に私の中心商店街への思いを述べさせていただきました。松山市役所のホームページに動画チャンネルがあり、いつでもどなたでも見られるようになっていきますので、聞き逃したなあという方がいらっしゃいましたら、見ていただけたらと思います。皆さんと一緒にまちづくりをやっていきたいという思いの中で、特に中心商店街は

大事な場所なので新年の最初に言わせていただきました。では、早速意見交換に入りたいと思います。お待たせいたしました。どうぞよろしくお願ひします。

【男性】 ロープウェー街についての思いを述べさせていただきます。土日祭日などの人通りの多いときに、ロープウェー通りを歩行者天国にできたらいいなと思っています。現在は11月とか土曜夜市でイベントをしていますが、「光のおもてなし in 松山城」なども含めて多くの方が来られています。また、外国の方も非常に多くロープウェー街に来てもらっていますが、大街道が歩行者天国で歩車分離になっていますから、そのまま考えずに真っすぐロープウェー街を歩かれるので、車が曲がってきて危ないということもあり、非常にその辺りを危惧しています。どちらにしても本当に皆さんにロープウェー街を楽しんで歩いてほしいなと思っています、歩行者天国にすることで観光客や来街者の滞在時間が増えて、素敵な街になって商店街も潤うようになったらいいなと思っています。道後の本館の件もありますし、新たに観光名所にもなると思っていますので、ぜひ市の方々にも協力していただいて、その方向に向いてやっていただけたらと思っています。

【市長】 私からお答えします。今、市の方も協力をしていただいてとありましたが、先日、都市景観大賞の御祝会をさせていただいたときに、そのような話もいただいていたときに、そこもやりっぱなし、聞きっぱなしにしたくないので、課題の抽出をさせていただきました。まず、市のスタンスとしては、今の話を受けて積極的に協力をしていきたいと思っています。ロープウェー街を歩行者天国にすることは、松山城観光や周辺商業の活性化に効果があると思います。ただ、警察の許可は単なる物販だけでは許可が下りないそうです。ですから、公共性をどう確保していくのが1つ課題です。それと、ロープウェイ駅舎の1階に身体障害者の方のための駐車場が1台あります。通行規制をすると利用ができなくなるので、これをどうするのか、また、ロープウェイ駅舎前に伊予鉄道さんのバス停があるので、伊予鉄道さんと協議をしてバスのルートを喜与町経由に変更する必要もあります。歩行者天国にした場合に、ロープウェー街を通れなくなるので、道路が混雑する可能性もあります。皆さんは地元ですのでご存知だと思いますが、ロープウェイ駅舎前のバス停で観光客が観光バスから乗り降りをする場合がありますが、駅舎前が使いえなくなると乗降する場所の問題もあります。こういった課題を商店街の皆さんや伊予鉄道さんにも参加していただいて、そして愛媛県警さんにも参加していただいて、関係する方々と

意見交換ができる協議の場を設けて、課題の抽出と対策をどうしていくのかを進めるのがよいのではないかなと思います。松山市としては地域経済課や観光・国際交流課や道路管理課が対象になりますが、そのような関係部署に声がけをして積極的に協力をしていきたいと思っています。先日、ロープウェー街さんが新しく事務所を開設されたと伺いましたので、出店料の話もあるかと思っていますので、この場所で課題解決に向けた協議を重ねるのがよいのではないかと思っています。私の今の思いはそういったところになります。

【男性】 お世話になります。一番町の整備の際はご協力いただきまして、まことにありがとうございました。おかげさまで、休みの日や連休は、ロープウェー街から観光客の方が大街道に入ってきていただいて、私の二番町のお店ぐらまでは観光客の方が多く見られるようになりました。これは本当に一番町整備のおかげだと思っています。以前までは、お休みの日でも大街道の中はあまり観光客の方を見かけなかったですが、見かけるようになったのは、そのおかげだと思っています。私が思うには、大街道の中に入ってきていただいたので、ぜひ周りを周遊してもらいたいという気持ちがあり、私の個人的な意見ですが、愚陀佛庵の跡に愚陀佛庵を再建していただきたいと思っています。そうすることによって、大街道の中に入ってきた観光客の方もちょっと裏通りに出てみたり、また、夜になったら二番町の飲み屋街に繰り出したり、そのような広がりが出てくると思っています。その辺をぜひご検討いただいたらありがたいです。よろしくお願ひします。

【市長】 愚陀佛庵は市全体のことなので私から述べさせていただきます。愚陀佛庵は皆さんご近所ですからお分かりのことと思いますが、夏目漱石さんと正岡子規さんが、共に52日間を過ごした松山にとっては大切な場所です。52日間を共に過ごすことによって、夏目漱石さんは素晴らしい文学小説をつくり、そして正岡子規さんは俳句の革新運動をしたわけですから、素晴らしい52日間だったと思っています。ちょうど来年は、正岡子規さんと夏目漱石さんが生きていたら150歳になられ、柳原極堂さんも同い年で150歳になられ、いい節目の年になるのではないかなと思っています。そういった中で、ご存知のとおり6年前の平成22年の豪雨の時に、松山城の麓に再建されていた愚陀佛庵が倒壊してしまいました。設置者は愛媛県になりますが、2年半にわたり、愛媛県と松山市が候補地の選定など再建について協議を重ねてきました。どの候補地にも課題があることから再建を見送ることになりました。ただ、近年、全国的な地方創生

の流れの中で、ふるさとへの愛着や帰属意識を高めることが、これまで以上に求められています。来年の子規さん漱石さん極堂さんの生誕150年に向けて、縦割りではなく部局横断的にさまざまな取り組みを今検討しています。これはこれまで進めてきた「坂の上の雲フィールドミュージアム構想」にも合致をすることですし、今、改めて萬翠荘の敷地内も宝巖寺の前も、もともと愚陀佛庵があった場所も、どこも課題がありますので、検討をしています。今言えるところはこのようなところですが、ご理解いただけたらと思います。

【男性】 二番町の候補地の一番の大きな課題は何でしょうか。

【市長】 はい、包み隠さず申し上げます。それぞれに言っていますが、もともとあった跡地は、本来あった場所ですから、歴史的意味での評価は高いと思っています。ただ、この土地を買収するためには多額の経費がかかります。愛媛県や松山市の財政状況を鑑みると、ここに復元するのは極めて困難ではないかなと思っています。税金はまちづくりのエネルギーですが、少子化で働いて税金を納めてくれる方がこれからどんどん少なくなります。私もそうになっていきますが、高齢化でこれから世話になる人が増えていく中で、今、国自体が1千兆円を超える借金を抱えていますから、仕送りと似たところがあり、大もとが苦しかったら仕送りがこれから増えるとはとても考えにくいです。限られた財政の中でやっていかななくてはいけないので、ここに復元することは極めて困難ではないかなと感じています。萬翠荘と宝巖寺の前も説明させていただいたらと思います。萬翠荘の敷地内は背後斜面が脆弱で、重要文化財の萬翠荘を守るためには対策工事が必要ではないかなと思っています。敷地内の東側は将来的に重要文化財指定の可能性があるため、保全をしておく必要があるというのが萬翠荘敷地内の見方です。宝巖寺前も適地の1つとして出ていました。可能性のある土地の1つとしていましたが、同じ道後地区内の子規記念博物館内に実物大の愚陀佛庵を復元していますので、同様の施設を至近距離に整備する公益性は低いと思います。管理棟や外構、庭園整備などの付帯工事に多額の経費が必要になり、継続的に維持管理費が必要になります。これはもともとの愚陀佛庵の場所も同じことが言えようかと思いますが、管理棟や外構、庭園整備などの付帯工事に多額の経費が伴い、継続的に維持管理費が必要になります。宝巖寺前は子規と漱石が吟行した場所であるものの、それ以上の歴史的関連性がないというのが宝巖寺前の見方です。

【男性】 コストの問題ということですが、地域で寄付集めなどもお願いして、お金が集まれば可能性はあるのでしょうか。

【市長】 大街道さんロープウェー街さんの近くなのでご存知だと思います。

すが、秋山兄弟生誕地は企業さんや地元の方々に寄付を募っていただいて、見事に民間の力で再建をされた1つのケースだと思います。寄付の難しいところは、所定の額が集まらなかったら返すことが難しいことと、じゃあ集まらなかったからどうしますというところがあるので、今のところ動きがないというのが実際のところですよ。

【男性】 先ほど言われた愚陀佛庵とも関係あるかとは思いますが、今、すごく観光客の方も大街道の入口まではよくいらっしゃるようになってきたのですが、まだまだ観光客の方への周知といいますか、観光客の方が松山にこういうすばらしい商店街があるということをはなかなか知っていただけていないという感じが個人的にしています。特に海外から来られたお客さんは、いったいどこで何を買えばいいのかわからないところがあるみたいで、道後やお城山付近は皆さん周知されていると思いますが、日本でも有数の商店街があるということをお観光客の方にぜひ周知していただきたいなと思っています。

【産業経済部副部長】 観光客の方、特に外国人も含めて外国からかなりの方がいらっしゃいますので、国内外含めて観光客の方を誘客することは非常に大事なことだと思っています。それに向けて、外国人の方がよく利用されるインスタグラムやSNSを活用したやり方、インターネットを使ったやり方、またパンフレットなどを通じて、外国語の言語対応をしています。それから、広島には外国人観光客の方が多くいらっしゃいますので、そういう方に愛媛松山を回遊していただくという意味合いで、海上交通に関してのご案内も多数揃えて今やっています。これからさらに民間の方と一体になって、そのようなPRに努めていこうと思っています。また、インターネットを使う上ではWi-Fiの普及が必要だと思いますので、今、松山市の公共施設では「松山フリーWi-Fi」、愛媛県では「えひめFreeWi-Fi」を充実させていますので、なるべく中心部に集まるような情報も出していきたいと思っています。

【市長】 私から逆質問ですが、お城までは外国人観光客、日本人観光客は来ているんですね。私の思いとしては、もっともっとロープウェー街で滞在していただいて、お買い物をしていただきたいし、大街道商店街でもお買い物していただきたいし、銀天街商店街でもお買い物していただきたい、中心商店街でお買い物していただきたいと思っています。例えばロープウェー商店街さんが日本人観光客、外国人観光客に来てもらうためにどういうことをやってらっしゃるのか、大街道商店街さんは日本人観光客、外国人観光客にお城から足を延ばして来てもらう

ために、どういうことをされているか教えていただけませんか。

【男性】 ロープウェー街は60年ということで、還暦祭りで大変画期的なことをしています。道後の商店街さん、空港さんたちと連携して2カ月に1回会議をしたり、懇親を深めたり、今まで市主導でしてきたことを今まさに僕たちの手で事を起こしています。観光というキーワードの中で、僕たち民間の知恵で喧々諤々やっていますので、ぜひそういうところにも市の方に入っていて、いろいろやっていただきたいです。この会は1年前にできました。

【市長】 わかりました。すみません、誤解のないように。何をやっているのか、私が詳しく知らないので教えてくださいという趣旨で質問していますので、よろしくお願いします。

【男性】 ちょっと肝心なことを言っていないので。「周年事業を盛り上げよう会」をしています。去年、一番町の信号機が60周年でした。愛媛県で最初にできて、最初の交通事故が起こったということで、その地域をクローズアップしようよということから、「周年事業盛り上げ会」というのをつくっています。10周年でも5周年でも、結構早く来るので、その周年事業を盛り上げようというネタをあちこちで集めています。例えば今年三越さんが70周年、銀天街のアーケードが60周年など、色んな周年事業があります。そのたびに色んな行事を起こしていこうと、例えば古い写真を集めようとか、それにちなんだ催しものを作ろうとか、そういうことをみんなで集まって協議し、空港ビルさんや伊予鉄道さんも周年事業をやるので、それでどンドン輪を広げていきたいと思います。なところの会をしています。

【市長】 なるほど、やられていますよね。存じ上げています。

【男性】 インバウンドの話が出てきたので、Wi-Fi等の整備も進められていますけれども、割と現状は使い勝手が悪いです。

【市長】 Wi-Fiは大街道商店街さんや中心商店街さんにはどこに設置されているのですか。

【男性】 えひめWi-Fiさんが引いていただいているんですが、これが使い勝手が悪いんです。割とそこへ入れなくなったり、スピードが遅かったり、1回切れた後にもう1回つなげるのが難しかったりして、ちょっと使い勝手が悪いところがあります。また、ソフト関係の話ですが、商店街も含めて統一のポイントといいますか、コンビニさんでも全部ポイントがあるんですが、できればそのような統一のポイントを持ちたいと思っています。そのために必要なレジなどの簡単な装置は、昔よりは全然統一感を出しやすくなっています。例えば、次の消費税が上がる際

にはレジの補助もあるので、そういうものをうまく利用しながら松山市内で統一のポイントをつくれなかなと思います。というのが、広島県では、プレミアム商品券が出た時に、プレミア分を電子化しようとして非常に細かいターゲットで利用できる仕組みをつくりました。松山市さんの色んな制度のポイントも融合することも可能なようなので、ぜひそういう研究会も立ち上げていただいて、それをうまく観光にも利用したり、アピールすることもやっていきたいと思います。それと、今、仕込み段階ですが、通訳が一番の問題で、今は、色んなシステムで通訳が機械式にできるようになってきていますので、それを専門家も合わせて、ある程度統一感を持って、どのような機械を使ったらこういう通訳ができるとか、簡単なポップがつくれるとかできればと思っています。インバウンドに対する補助金がいろいろ出ているようです。その補助金は、今、全部なくなっている状態ですが、観光も我々の商店街の活性化もうまく利用しながら、そういうところを使えないかと思っています。

【市長】 わかりました。まずポイント制度のことは、ちょうど銀天街、まつちかさん、市駅前さんの方々とタウンミーティングをしたときに話が出ました。我々のスタンスとしては、皆さんがまとまっていたいて、これやりたいんだと言っていたら、共に研究会を立ち上げてやれますよという話だったと思いますので、商店街の方でまとまっていたらと思います。あと、私は理系ではないので弱い分野なんですけど、もしWi-Fiを増やしてやりやすくなるんだしたら。副部長お願いします。

【産業経済部副部長】 産業経済部副部長の中島です。どうぞよろしくお願いします。商店街付近は「えひめFreeWi-Fi」が通っていると思いますが、複数の民間通信事業者のサービスを利用しているため、15分で1回切れることがあります。松山市の「松山フリーWi-Fi」は60分間隔ですけれども、まだ全部引けておりませんが、公共施設の整備をさせていただいています。利便性に関しては、もう少し何とかならないかなと個人的には思いますけれども、通信事業者によって接続方法が異なる関係で、使用場所が変わるとすぐ切れて次に入るときには自動的に入らなかつたりします。

【男性】 観光客で不満を言っている方もいらっしゃいます。私もWi-Fiのことは同じ思いです。仕組みとしてだめですね。整備したと行政さんは言いきっているんですが、使い勝手が悪いところがいけないのが現状です。

【市長】 Wi-Fiは商業振興の部分と防災の面でも情報収集の方法と

して大事なツールと思いますので、研究をさせていただいたらと思います。公共施設は多くの方が過ごす場所ということで整備を進めていますけれども、商店街も多くの方が過ごす場所ですので、W i - F i 整備の場所として研究させていただいたらと思います。教えていただいております。

【産業経済部副部長】 外国人の観光客対応のところで通訳等のお話がありました。松山市の観光・国際交流課では、愛媛県と商工会議所が連携して英語、韓国語、中国語の語学研修をしています。大体6回程度の内容ですけれども、仕事で必要になるホテルの方や商店街の方やデパートの方などを対象に無料でしています。また募集が出ますので、ご応募いただけたらと思います。それから、指差し会話集といって、わかりやすいものがあります。例えば、飲食店で外国人の方々が来られたときに、普通のメニューのように出して、「いらっしゃいませ」とか、「メニューは何にしましょうか」など、英語で言いたいところと言えない場合に、指差して使うかたちで、それぞれ4カ国語あり、お配りしています。それと、もう1つ、おもてなしペーパーというものがあります。外国人の方で日本の文化がおわかりにならない方が多いと思いますが、例えば、和式のトイレはどう使うかを旅館の方々がなかなか説明しづらいというときに、お手洗い編というものがあったり、お箸の使い方編、食べ方編、入浴編などいろいろと取り揃えて、なるべく皆さんに負担がかからないかたちで外国人の方に接していただくということでペーパーを用意させていただいています。要望があれば、お配りする対応をさせていただいています。

【市長】 この指差し会話集を知っているという方は、手を挙げていただけますか。使っていらっしゃいますか。

【男性】 実は、これを使っている店舗は飲食店が多いです。sovasovaさんに行かれるとわかりますが、「いらっしゃいませ」から「ニイハオ」まで書いています。そういう飲食店関係が今5店舗ほど、特に中国語を中心にメニュー表をつくっています。もし、これをつくっていただいたら、こんないいものはないなと思っています。松山城の切符売り場は、英語でも韓国語でも中国語でも対応できるようになっています。今、うちの商店街にエボルさんが入っていますので、前回、門前通行手形を松山市の補助のおかげでつくらせてもらったんですが、あれをまたつくりたいと思っています。そこに中国語と韓国語を入れた雑誌を配れば、またロープウェー商店街が盛り上がるかなと思っています。

【市長】 やはり我々は難しいなと思っているところで、今、市役所の中

では、「広報」と「広聴」に力を入れようと言っているんです。「広報」は、私たちは市役所ですから、市民の皆さんの笑顔のために、市民の皆さんに喜んでもらおうと思い、財政を知恵と工夫でやりながら、よかれと思って色々な事業をし、広報をしています。皆さんが知らなかったらやってないのと一緒のことになってしまいますよね。ですから、広報を大事にしないといけないと思います。今日は、多くの部数を持ってきていないので、御入用の方がいらっしゃったら、近くですから、お届けすることもできますし、市役所に来ていただいてもいいです。

【男性】 そういったものは、例えば、市役所のホームページにPDFか何かで掲載していただくことはできませんか。そうしたら、パソコンを多少使える人なら、自分でダウンロードして印刷して使うこともできると思うので、お願いします。

【市長】 PDFも1つの方法ですから、経費のことにもつながりますので考えたいと思います。ありがとうございます。広報と広聴ですが、やはり皆さんに知っていただくこと、そして、今日のように皆さんの声に耳を傾けることの広報と広聴に力を入れていきたいと思います。早速、PDFのことも研究させていただいたらと思います。今、松山市の観光推定客数が、最新の数字で580万人、その前の年が570万人、その前の年が560万人とおかげさまで、560万、570万、580万と松山の観光客数を増やすことができました。推定消費額は660億円と言われています。今、成功してきたかなと思っているのが、観光客をどうやって増やしてきたかということです。「うちのまちには、こんないいところがあるから来てください」というところが大体普通の行政ですが、うちは皆さんご存知のように、JTBさんや日本旅行さんや近畿日本ツーリストさんや農協観光さんなど、たくさんの大手旅行会社がありますが、そういう方々と一緒になって旅行商品をつくってきたので、増えています。やはり現場の声とそぐわないと難しいですから、大手旅行会社と一緒にやってきました。今、広島からのお客さんがどんどん増えています。広島経由といいましょうか。平成23年に「瀬戸内・松山構想」を掲げてやっていますけれども、今は関所のある時代ではないので、いいところがあったら、愛媛県だろうが、広島県だろうが来ますよね。広島には、多くの外国人観光客が来ていますので、せっかく広島まで人が来ているので、船舶会社さんとタッグを組んで、安い料金提示をしてもらったら来やすくなるということで、松山に本社のある石崎汽船さんと広島に本社のある瀬戸内海汽船さんと一緒になってしています。また、関西国際空港や大阪や奈良、京都にはお客さんが来ていますから、JR

西日本さんと一緒になって旅行商品をつくる、JR四国さんとも一緒になってつくる、このようなことが成功して増やしてきました。ですから、やはり皆さんと一緒に知恵を絞って連携することが大事だと思います。大街道やロープウェー街、銀天街やまつちかや市駅前やそういう中心商店街でもっと滞在してもらいたい、回遊してもらいたいと我々は思っています。道後もしかりですけれども、もっと滞在してもらいたい、回遊してもらいたいという思いは一緒だと思いますので、対立関係になるといけないと思いますが、皆さんと一緒にやると「市役所こういうことできるのか」と言われたときに、「いや、その方法はできないんですけど、こういうやり方がありますよ」という情報提供もできますし、やはり連携をすると、知恵と工夫でやれることが増えてくると思っていますので、また皆様方と一緒にできたらと思います。よろしくお願ひします。

【女性】 お世話になります。5年前に「てくるん」をつくってくださりまして、ありがとうございました。5年間は、「まちづくり松山」さんが運営していて、商店街も一緒になっていろいろやってきたつもりです。あそこにあのような施設があるからとお客様にお伝えしたら使ってくださいっています。今度、5年が終わることによって、新たに運営業者さんが変わると思っています。商店街としましては、今まで5年間、一生懸命てくるんさんと一緒にやってきましたので、もしこのままいい関係でいけばと思っています。まず、大街道に休憩所ができ、そして2丁目さんにでき、銀天街さんにできました。それをすごくお客様が喜んでくださっています。一番大きいのはてくるんさんで、毎日あそこの運営で色んなイベントもしてもらっていますし、土曜夜市のときはすごいごみが出ますけれども、商店街で処理させてもらったり、今度も9月に50万人か何かのイベントのときも、1丁目さんでお金を出してイベントに協力させてもらったり、すごくこの5年間友好関係ができて、いい状態でいたと思っていますので、今後ともそういう関係が続いたらいいなと思っています。よろしくお願ひします。

【市長】 てくるんさんは5年ごとの指定管理ですね。コンペの契約のことになりますから、ここで、私は「はい。わかりました」となかなか言えないですよ。副部長、何か言えることはありますか。

【産業経済部副部長】 皆さんにご利用いただきまして、また管理もまちのほうで中心になってやっていただきました。おかげさまで、今年の7から9月ぐらいには、利用者が50万人を突破しようかという勢いで、

利用者数も年々増えています。非常にありがたいことです。今、ご意見をいただきましたように、ちょうど指定管理者の交代の年になりますので、今、その準備を進めていますが、ここは確かに公平な契約内容になります。そこは審査員の判断がありますので、特別なことはご容赦いただければと思います。

【女性】 このままずっといけたら、一緒に協力をしながら、あそこに子どもさんやお年寄りが来てくれると全然違いますし、休憩にしても、ちょっとけがをしたときでも「あそこに行ったらね、トイレがあるから、きれいに手を洗って絆創膏をまくことができますよ」「ちょっと座ることができますよ」ということもお伝えしたら、皆さんすごく喜ばれるんですよ。「コンビニのトイレに行くんだったら、あそこのほうがゆっくり子どもさんを連れても行けますよ」とか、そういうのもまちづくり松山さんがああいうかたちでやってくださっているから、すごく言いやすいので、自分たちの施設だと思っていますので、よろしくお願いします。

【市長】 てくるんは私の1期目の公約でした。空き店舗で空けておくよりも5つのメリットがあります。前の仕事のときに、皆様の声と接する機会が多い仕事をさせていただいていましたが、障がいのある方が、大街道や銀天街、中心商店街に行きたいんだが、多目的トイレは、確か三越さんや高島屋さんにはあるんだけど、ほかになかなかないという話がありました。あそこはオフィスが多いですから、オフィスで働く方の保育所ができたらなということ。買い物に来ていただいて、やはりお子さんは、はしゃいだり思うようにいかないところがありますから、一時的に預かって商店街で買い物を楽しんでもらったら、気分転換もできるんじゃないかということ。イベントスペースはどうだろうかとか、授乳室や充電ができるとか、ベビーカーを貸し出してもらえるととか、5つのメリットがあるということで、あそこをてくるんにさせていただきました。皆さん方のご協力のおかげで、いいかたちで推移しているかなと思っています。私は松山で生まれ育った人間で、城北の清水小学校の入学卒業です。ですから、「おまち」へ行くという感じで、中心商店街は自分にとって大事な場所です。ですから、冒頭の中心市街地活性化2050ビジョンでも言ったように、商店街の皆さん方も頑張ってくれているので、この宝をこれからも継続していきたいと思っています。花園町もそういった思いの中で、地元の方々と一緒にリニューアルをさせていただきましたが、あのときつらかったのは、大街道や銀天街の一部の方々からあおられた人もいますけれども、「市長は花園町ばかり向いて、大街道や銀天街の邪魔をしよる」と言われたことがあります。

ました。つらかったですね。私は、中心商店街を大事にしたいという思いで、花園さんのアーケードも30年経って大分古くなってきて、なかなか地元の方々がもう余力がないといったこともあったので、皆さん方とお話をさせていただいてさせていただきました。変わらない中心商店街の思いだと思いますので、ご理解をいただけたらと思います。

【男性】 今、この場所が中心部の現状だと思うんですよ。この公民館は、本来公民館だけだと狭いので、何とかこの面積を有効に使うということで、社会福祉協議会とが併設され、大きいこのようなコミュニティ施設ができたんです。これが、今回やっと改築という話ですが、住民が2千人しか住んでいないので、非常に小さな施設しかできないというお答えなんですね。でも、やはり我々は、ここでずっと総会をしてきて、商店街も利用してきた場所です。番町地区の公民館という役割は、ほかの地域の役割とは違うところがありますし、そのほかにも色んなことが当てはまると思っています。中心部は結構昔にインフラ整備がされていて、例えば、下水管も昭和30年代のものが中心部は非常に多いです。すると、雨が降るとあふれ、ちょっとした雨で商店街が冠水するお店も実はあります。そういうインフラ整備は、ぜひもう1回見直していただきたいなと思います。それから、花園町も含めて道路の整備に関してですが、現状追認なんですね。今の道路状況、道路負荷がこのぐらいだから1車線でいいよとか、2車線でいいよという話になりますが、現状の道路では、我々は食べれないんです。今の2倍の通行量が大街道にもあったし、車も今の2倍の通行量があったんです。今は、この通行量だからこれでいいんじゃないかという論理は、ちょっと当てはまりません。50年、100年の設計をするならば、中心部にどれぐらいの人が来て、どういうにぎわいをもたらそうというのは、歩行者だけではなく、地方都市にとって車が非常に大事だというのは、おわかりだと思いますし、L字開発も含めて、ゲートウェイということが中心で、駐車場の大きな開発も入れていただいています。ぜひ、その辺のところを本当に実現をしてほしいと思っています。中心部、商店街は各組合が全部違うのでなかなか一緒になれませんが、「まちづくり松山」という会社も含めて、何とか統一感を持たそう、一緒に松山全体のことを考えようと一生懸命考えているつもりです。ぜひその辺のところ、松山市さんも常に話し合いの機会を入れてもらいながら、少しでもいいほうにお金を使っていく方法論を一緒に話し合えたらと思っています。

【市長】 下水の場所は遠慮なく言っていただけたらと思います。「やり

っぱなしにしない、聞きっぱなしにしない」ということで、大きなお金をかけてやらないと改修ができないもの、中程度のことでできること、あるいは小さなことで改修ができること、さまざまありますので、遠慮なく箇所を言っていただいたら対応させていただきます。それで、「言っているんだけど遅い」ということがあったらまた教えてください。それは経緯があっただけでこうなっているのかどうかもご説明できたらと思います。

【男性】 特に大雨が降ると、雨水に対して柵が弱すぎるので、それは早急に何とかできないのかというのはあります。

【市長】 今のお話だと複数箇所ありそうですね。今度、ちょっとお時間いただいて、下水道部の職員を行かせます。

【男性】 あちこちに結構あるんです。

【市長】 早速対応できるものから対応したいと思います。あと、車の現状追認というお話がありましたけれども。

【都市・交通計画課長】 たぶんそれは、花園の台数のことを言われているのだと思うんです。基本は歩いて回遊できる動線整備ということで、車で来られる方は、まちの立ち寄り回数が大体1～1.2軒という方が多く、公共交通とかで来られると、立ち寄り回数が2軒以上というデータもあり、極力何軒かを回って帰ってもらうためには、回遊動線を整備するのが必要だと思っています。例えば、2車線いる道路であった場合は、周りの幹線道路にどのくらいの渋滞が発生するかを検証しながらやっています。たまたま花園町通りの場合は、1車線で足りる交通量だったということでやっています。ロープウェー通りも歩行者空間を広げたわけですが、あそこだけで1日3千台ということで、1車線で現状は足りています。もし2車線いる道路であった場合でも周りの渋滞を検証しながらやるということで、決して追認だけというかたちにはなっていないことは理解していただきたいなと思います。たまたま、そうだったとご理解していただけたらと思います。

【市長】 この応酬になってもいけませんので、常にこれからも話をしていくということではいかがでしょうか。花園町の整備も、我々としては健康や観光面などで、できるだけ歩いていただきたいと思っています。

【男性】 中心部に観光バスが停まれるところがなくなりました。じゃあ、いったいどこに停めるのか。よそに停めればいいじゃないという話もありますが、観光客でも停められないんですよ。ホテルもたくさんできつつありますが、ホテルに来る観光バスをどこに停めるのかという論議がないんです。それで道路を例えば1車線にしたり、どんどん狭くすると、

観光バスも停まれないという状況が今、生まれつつあります。

【市長】 その件についてはどうでしょうか。何か松山市の考え方みたいなものが言えますか。中心商店街、観光バスというところはどうですかね。

【都市デザイン課長】 都市デザイン課の坪内です。再開発や景観を担当しています。現在のインフラの関係でいいますと、既存の道路インフラを活用して観光バスを停めることは非常に難しいと思います。しかし、今後例えば再開発などが起こってくると、検討していくことは十分あると思っています。市内でも再開発等がL字も含めて現在進んでいます、そういったスペースを既存のインフラをいかに振り替えていくか、再配分していくかは一緒になって検討できたらと思います。

【男性】 伊予鉄の一番町の場所に観光バスが止められなくなりましたよね。あそこは、結構便利だったんです。すると観光客は全く中心部には来られない状況ですので、そのようなことも大きなまちづくりの中で考えてほしいです。それから中心部に観光の拠点が無いので増やしたいとか、言うことはたくさんありますが、観光を中心部でやるならば、関係者でそういう会もぜひつくっていただきたいと思います。色んなところが縦割りの行政の中で、それぞれ別のことではなく、ぜひ1つのテーマを絞って、観光なら観光というテーマを絞って会議を開いていただきたいと思います。

【都市デザイン課長】 例えば全国事例で、昔あった観光バス専用の大きなスペースではなく、都心部では道路空間の歩道部分を少し変えたかたちで観光バスが一時的に停車できるスペースもあります。ですので、今後の空間の整備や再開発の際に、官と民が連動して、歩道が減った分は民間でそのスペースを設けるなど工夫しながら、ハード的にはそのような検討も今後していけばいいと思います。

【市長】 今のダイワロイネットホテルのところですが、伊予鉄さんの一番町の駐車場がなくなりますよという話がありましたので、大型観光バスの場所をどうするんだというのは常に考えながら動いてきたつもりです。平成26年11月に伊予鉄の一番町駐車場が廃止になりました。3台分のバスの駐車スペースがなくなりましたので、土地を買わせていただいて、今年4月に松山城の喜与町の駐車場に3台分のバスの駐車スペースを増設させていただきました。動向調査もしています。ピーク時にはひめぎんホールの向かい側に誘導していますが、このほか、これまでに旧がんセンターの前、堀之内公園内の開放5台分や郊外の市有施設などを活用したパークアンドライドを実施しました。以前、南江戸の中央浄化センターの使用していない場所で実施しましたが、1日10台程

度の利用にとどまり、稼働率が低く、あまり利用してもらえませんでした。観光バスはお客さんを降ろした後、市内を周遊しているという動きが大半で、そのほか郊外に逃げている実例があります。お客様を増やしてきましたので、貸し切りバスによるお客様は過去5年間では徐々に増えています。実数を申し上げますと、平成23年には11,600台、平成24年には、四捨五入して11,660台、平成25年は11,800台、平成26年は12,400台、平成27年は約12,800台と増えています。平成11年のしまなみ海道開通時は25,543台と、倍のお客様がきていたんです。ですから、旅行形態が変わり、大型バスでドーンとやってきて、和室にドーンと泊まっていた時代ではなく、自家用車やほかの交通機関で来ることが増えてきているのが現状です。松山城の喜与町に新しく駐車場を3台増やしましたが、それでほったらかしにしているのは嫌ですからヒアリングをしています。利用者数は増えていますが、駐車できないケースやほかの駐車場に誘導するケースは減っています。4月から7月の4カ月間で約40台程度、朝8時30分から8時50分、昼の13時30分から15時30分の時間帯に限られていて、トラブル等も発生していない状況です。松山城の警備誘導スタッフによると、松山城の周辺で観光バスの渋滞などは発生していないということです。ひめぎんホール向かい側の民間駐車場へのヒアリングでは、昼間の駐車率は3割程度と、約2年前の調査時と変わらないということです。そういったことから総合すると、現段階では用地の確保、駐車場をつくっていく、管理する、莫大な労力と予算をかけてバス専用の駐車場スペースを確保する緊急性は乏しいとは考えていますけれども、確かに海外のお客様ですとか、日本人観光客、大街道とか中心商店街に来ていただいて、買い物を楽しんでいただければということも考えていますので、これからの大型開発で空間改変をしていく中で、「ここにだったら大型バスも入っていけるよね」と皆さんと一緒に考えていければと思っています。

【男性】 道路の車線をむやみに減らすと入れないんですよ。入れないところをつくっているんですよ。それはわかってください。それと、現状、外国人の方はエミフルでお土産を買って帰っています。

【市長】 今、私たちはデータをもとに、こういう思いでやってきました。でも皆さんはこういう思いだよという意見交換をあえてさせていただきました。やはり話ができない関係よりは、話ができる関係がいいと思います。自分たちはこういう思いの中でやってきた、皆さんはこういう思いの中でやってきた、こうやって意見交換をして高いステップに上がった

ていければと思っています。昔、授業でアウフヘーベンというのを勉強しましたが、知を高いところに上っていくということだと思いますから、話ができない関係ではなく、話ができる関係になりたいと思いますので、これからもお願いします。

【男性】 二番町の三越前の道路が1車線になるという話を聞いたことがあります。今、土日はそこが非常に混雑してしまっていて、結構大変な状態です。今、三越さんが潰れることはないと思いますが、経営が非常に悪くなったら、商店街は完璧に潰れてしまうと思うので、その辺はどうなんでしょうか。

【都市・交通計画課長】 大街道から東堀端、二番町の駐車場まで、まずは無電柱化という電線を地下に埋める工事を現在していて、歩道の両方に管を入れる作業をしています。南側は全線管が下に入っていて、北側は三越・全日空ホテルの間辺りまで入り、今年度は引き続き東に向けて管を入れていきます。表面の道路整備については、熊本地震があったりして、国の交付金はどうついてくるかもありますけども、平成30年度くらいまでを目途に完成を目指したいと考えています。

【市長】 電線の地中化ですね。

【都市・交通計画課長】 平成29年度に地中化の管はすべて入れてしまって、お金がついてくれば、道路整備は30年度完成を目指したいという工程で進んでいます。

【市長】 皆さんの心配は、三越さんのところに日曜日などは車が並んでいるけれど大丈夫かということですね。その懸念についてはどうでしょうか。

【都市・交通計画課長】 1車線ですが、停車帯といって車が横に停まる路肩を白線から外はちょっと広めに取っていますので、ある一定は吸収できるんじゃないかと思っています。

【市長】 皆さんはちょっと不安だなという雰囲気ではないでしょうか。ここはもうちょっと皆さんにわかっていただく必要がありますね。

【男性】 2車線でもちょっと混み合っている状態なので、例えば1.5車線とか、1.8車線とか、路肩の分を考えたとしても結構大変なことになるんじゃないかと思います。

【都市・交通計画課長】 それについてはもう一度検証させていただきたいと思います。あと、大街道から勝山通りに向かうところは、まだ地元にも話をしていませんので、その辺も含めて再度検証はさせていただこうと思います。

【市長】 今、大街道から勝山町に向いてはまだまだというところですか。

【都市・交通計画課長】 大街道から勝山通りの間は、計画上もまだ1車線というかたちにはなっていません。現状の交通もそうですが、当時地元の人や学識経験者が入った協議会の中では、1車線で歩行空間を広げるとい話が一応できていますので、また再検証だけさせてもらえたらどうかと思います。

【市長】 私が市長の立場として感じるのは、三越さんに車が並んでいますが、せっかくあれだけのお客さんが来ているわけですから、それをみすみす逃がすことはないと思います。ですので、そこに配慮した整備が必要になっていくと思いますし、地元の方々にも話をしながら不安のないように進めていきたいと思います。

【男性】 私がお尋ねしたいのは、活性化についてです。今現状は大変商店街が沈滞化して、物が売れていないと思います。大街道に人が来て、お金が動くというかたちにするにはどうしたらいいかということ、よく事務局と相談していますが、私は裏側に住んでいる人間なので、大街道を見る場合にはやはり裏側も一緒に考えて対策を講じていく必要があると思います、活性化のためにJRAの場外馬券場をつくったらどうかという話をしました。そんな話をしましたが、前に向いては言っていません。我々のところは非常に歓楽街ですから、そこで24時間生活している人間については、朝の3時4時までにはぎやかです。色んな問題がありますが、環境がいいとか悪いとかいうことではなく、活性化してお金が動いて経済が豊かになる方法を講じないと、商店街がプラス側に動かないと思います。今後ますます物が売れる時代ではない中で、楽しむというか、そちらの方面の対策も必要ではないかと思、その話はどうなっているのかお知らせ願いたいです。もう1つ、小さいことですが、ごみの問題で、我々年寄りには非常に困っていることがあります。特にペットボトルの分別と回収について、3年前にあのような分別になってみんなが努力してやっていますが、あの回収効果が私たちの耳に入っていないので、それをお聞きしたいと思います。我々もボランティアで協力することはありませんが、プラスにもならないのにこんなことをやるんやったら、いっそのこと以前の分別にしたらどうかということもあり得ると思いますが、ここら辺りもお聞かせ願えたらと思います。

【産業経済部副部長】 産経部の中島です。JRAの場外馬券販売所については、若い人からご年配の方までかなりファンはいらっしゃいますから、おっしゃるとおり効果は出るのではないかと思います。ただ、調べました

ところ、今の全国的な流れでは、馬券の販売所は廃止とか休止が相次いでいるようです。過去3年で全国9カ所ほど休止・廃止に追い込まれていますが、これは色んな要因が考えられます。採算性が合わないことや、なかなか住民の方の理解をいただけていないことなどです。そういったことも我々も危惧はしています。ですから、周囲に実際場所があるかどうかや、商店街周囲の方々の了解や理解が得られているのかなど、十分に慎重な検討や対応をしていかないと、先ほど申し上げたように、せっかくなつくたのに廃止に追い込まれることも事例として実際ありますので、慎重な対応が必要だと思っています。

【市民部長】 市民部長の唐崎と申します。よろしくお願ひいたします。ご質問のありましたペットボトルの回収の関係ですが、平成27年度の年間の数字で申し上げますと、ペットボトルを約1,300トン回収し、そのうちの94%にあたる約1,200トンをリサイクルしています。94%というのは、収集したものの中でリサイクルに回すことのできないものもあるということです。回収しましたペットボトルは、金額にして約4,660万円が松山市の収入になっています。回収したペットボトルは、服や卵のパック、車の内装材などで改めて活用されています。皆様方のご協力により、収入も上がっていますし、松山市のごみも少なくなっているということです。

【市長】 先ほど申し上げたようにペットボトルは、お金をかけて処理していたごみが、皆さんのおかげで4,660万円入ってきています。プラスチック製の容器包装は、840万円が市にお金として入ってきています。限られた財政の中でやっていますので、1年間に5,500万円入ってくるのは非常にありがたいことなので、皆様方のご協力に心から感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。今日はさまざまなご意見をいただきまして、ありがとうございます。今日、本当は言いたかったけど、時間の関係で言えなかったなとかいうことがありましたら、市長へのわがまちメールという制度がありますので、遠慮なく言っていただいたらと思います。また、私もできるだけ地域行事に出たいと思っていますので、見つけた際には声をかけていただいて、「あれ、こう思うんじゃけどどうなっとなかな」と遠慮なく言っていただいたらと思います。今日申し上げましたけれども、やはりこうやって意見交換できることが大事なことだと思っています。我々は後でどうしてこういうことをされたんですかと聞かれたときに、こう思ってこう動いたんですという裏付けがあります。ですから、「私たちの思いもこういうことでやってきたんですよ」、皆さんも、「それはわかるけど今現状はわし

「やこう思うんぜ」という意見交換をしながら高い次元で会話のキャッチボールができればと思いますので、また引き続きお力添えのほど、よろしくをお願いします。最後に、松山はお城がありますし、その麓に商店街があることが大事なことだと思います。全国では、温泉というと1時間くらい走らないと温泉はないところがありますが、松山市は中心商店街に近いところに道後温泉があったり、お城があったりします。そういうコンパクトシティが松山の宝だと思いますし、先人先輩たちが頑張ってきてくれたからこそ、こういう松山が残っているんだと思います。私の仕事もいつまでもできる仕事ではありません。考えているのは、子どもや孫の世代にどんないい松山を残すのか、皆さんと一緒になっていい松山を子どもや孫の世代に残していきたい。この一念で仕事をしているので、皆さんのお力添え、ご理解をいただければ幸いです。今日は本当に貴重な意見交換ができましたこと、本当にありがとうございました。またこれからもいい意見交換ができればと思います。本当にありがとうございました。

— 了 —